

西武地区地域包括支援センター

《運営・処遇方針》

【私たちの使命】

西武地区地域包括支援センターは、法人の理念と基本方針に基づき、また入間市より委託を受けた事業所として、地域の高齢者が認知症や病気等になっても、住み慣れた地域や自宅で暮らし続けることが出来るよう、専門職としてそれぞれの特性を活かしながら地域に馴染み、地域住民と共に西武地区の将来を考えていくことが使命であり、地域包括ケアシステム構築や地域共生社会の実現に向けた取り組みを継続して行います。事業を行うにあたり、感染症予防の観点から、マスク着用・手指消毒実施・事業所や包括車両の定期的な消毒等実施の他、職員は日頃より自らの健康管理に注意し、地域住民等にも感染予防の重要性を認識してもらえるようにします。

【私たちが提供できる価値】

《主任介護支援専門員》

介護保険制度やケアマネジメントの専門職として高齢者の自立支援とは何かを考え、高齢者の個々の状況に応じて、地域のサービスや社会資源を活用しながら、その人らしい人生が送れるよう支援します。

また、地域で働く介護支援専門員のサポートやアドバイス等を通じて、ケアマネジメントの質の向上を図ります。その他、地域包括ケアシステム構築におけるハブ役として、地域と事業所を繋げることが出来るよう、行政、関係機関、地域住民組織等と連携・協働します。

《社会福祉士》

介護支援専門員や地域住民に対して、権利擁護についての研修や講座を開催し、普及・啓発活動を行います。

また、利用者やその家族、介護支援専門員からの相談を受け、成年後見制度の利用が必要かどうかを見極め、必要な場合には申立てが適切に行われるよう支援します。その他、高齢者虐待防止と早期発見に取り組み、相談、発見した場合には、入間市高齢者虐待マニュアルに沿って対応し、関係機関等と連携を図りチームで対応します。

《看護師》

疾病や加齢による変化があっても、地域住民が人生の主役として自身の健康づくりに主体的に取り組めるよう働きかけを行います。生活課題に応じた支援を受けながら、望む暮らしの場で生活していけるよう、在宅医療・介護の相談に応じます。

《介護支援専門員》

介護保険サービス利用が望ましいと思われる要支援認定者等については適切なアセスメントの下、介護保険サービス利用へ繋ぐと共に家族への精神的支援も行いながら、関係機関との連携に努めます。

また、高齢者の自立支援への一歩は、介護保険制度に頼る事のみではないと考え、介護保険制度以外の社会資源の利用を検討しながら、自らが率先して介護予防を意識していただけるよう、生活環境整備も含めた提案をしていきます。

《生活支援コーディネーター》

楽しみが増す暮らしぶりになるよう、地域ニーズに合わせ住民主体の支え合いや通いの場の拡充を図り、社会資源把握支援サービス「けあプロ・navi」の周知や利用推進を行います。

また、地域ケア個別会議で抽出された地域課題を下に第2層協議体を開催し、課題の共有や解決策の模索を行います。

【年度終了時の展望】

地域住民が認知症や病気等になっても住み慣れた家や地域で、その人が望む暮らしができるよう、各職員が柔軟な発想の下、コミュニケーション手段を失わずに支援を継続して行います。行政や関係機関、地域住民組織等と連携・協働し、西武地区のあるべき未来像を共に考えることができるよう、顔の見える関係性の先「信用・信頼のできる関係」の構築を目指し、継続性のある支援を行っていきます。